

令和5年度 体協ニュース

No.	5-⑩
行事名	第48回 板橋区・高島平ハーフマラソン
会場	(公財)日本陸上競技連盟公認・WA 認証 高島平周回コース
日時	令和5年10月1日(日)
主催	公益財団法人 板橋区体育協、一般社団法人板橋区陸上競技協会
協力	板橋区・高島平警察署・志村消防署・板橋区スポーツ推進委員協議会 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・板橋区柔道整復師会 国際興業株式会社・JA 東京あおば
後援	公益財団法人東京陸上競技協会・公益社団法人板橋区医師会

令和5年10月1日(日)に、日本陸連公認の高島平ハーフマラソンコースにて、2019年以來の開催となります第48回板橋区・高島平ハーフマラソンが開催されました。今回は前回までの種目20kmの部が、ハーフマラソン(21.0975km)に変更され、走路も新たに1kmあまりの周回コースが追加されました。名称も同時に「ハーフマラソン」に変更されました。

新装なった今年の本大会ですが、異常気象を思わせるような状況の中、前回開催時点でも厳しかった高温レースでしたが、今年はそれ以上の残暑の中、朝8時にもかかわらず気温24度、湿度も非常に高い状況でスタート時間を迎えました。

レースはハーフマラソンが8時半、続いて10時25分に5km、10時37分に10kmと競技が進められ、それぞれ豊泉和男板橋区陸上競技協会会長が号砲を鳴らす中、開催されました。

今大会からハーフマラソン(21.0975km)となり、距離が伸びた分、スタート位置や、ゴール位置、周回途中のコースに変更が加えられ、ランナーに戸惑いが見られる部分もありましたが、元気に駆け抜けていきました。

今回も招待選手として参加の川内優輝選手も先頭集団に加わり、熱い走りを見せていただきました。最後は惜しくも2番で(1時間5分50秒)ゴールとなりました。川内選手はいつもの粘りのレースで途中順位を下げるも最後はさすがの走りを見せていただきました。ありがとうございました!

登録大学男子の部では、順天堂大学が1位から3位まで独占を果たすなど、古豪の力強さを見せてくれました。ハーフマラソン女子の部では、前回まで10kmの部に参加し、数多くの優勝を重ねていた、山口 遥選手が、見事1位でフィニッシュしました。山口選手あっぱれでした!

5kmの部では、コモディイイダの2選手がぶっちぎりの快走見せ、観客を驚かせていました。最後はそのまま1、2位でフィニッシュ。14分台の好記録でした。高校男子5kmでも秒単位で順位を争う好レースを見せてくれました。

10kmレースでは、各年代の選手が、それぞれ厳しい環境の中で日頃の練習の成果を発揮していたようです。

39歳以下(一般男子)の部で出場の、キサルサク エドウィン選手もこの厳しい環境の中で、大会記録に迫る激走を見せてくれました。

久しぶりの大会開催にもかかわらず、沿道での熱い応援もいただきました。今年も例年と変わらず、素晴らしいスピードで駆け抜ける選手の姿が見られました通りに、本レースでは箱根駅伝出場校の選手や実業団選手などが多数参加いただいています。トップランナーと間近でレース経験をしたいランナーの皆様は是非本大会へのご参加をお願いいたします。

今回も、大会後のレース走路を利用したキッズのファンランも行われ、川内選手と一緒にランニングを楽しみました。その後、川内選手のトークショーで走り方のコツ、けがをしないための心構えなど、川内選手から参考になるアドバイスをいただけたことと思います。最後には、あいおいニッセイ同和損保(株)様ご協力のもと、川内選手とのじゃんけん大会で、サイン入りTシャツやレトルトカレーの提供があり、キッズランナーと共に楽しい時間を過ごしていただきました。

表彰式での演奏や、完走後の選手を迎える演奏などにご協力いただきました高島三中ブラスバンド部の皆様、そして勇音太鼓の皆様の力強い応援演奏をありがとうございました。

大会開催にあたりご協力をいただきました関係者の皆様に、感謝いたします。

(写真・文 伊藤 信)



先頭集団

ファンラン後、じゃんけん大会